

高校PTA事例（南高校）

「平成28年度新任役員研修会」

平成28年4月13日
横浜市PTA連絡協議会

進学先としての高校

○公立高校

- ・ 横浜市立高校
- ・ 神奈川県立高校
- ・ 国立高校

○私立高校

横浜市立高校

みなと総合(中区) 横浜総合(港南区)

東(鶴見区) 南(港南区) 桜丘(保土ヶ谷区) 金沢(金沢区) 戸塚(戸塚区)

横浜商業(南区、磯子区)

横浜サイエンスフロンティア(鶴見区)

市立南高校の特徴

- 横浜市立では初の中高一貫校
- 高校募集は1クラス（中学募集は4クラス）
- スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定（H27年度）
神奈川県では5校（H27年度指定は2校）。文科省からの指定。
- 長い歴史と市民の支援による開校
Y高から分離（1954）、当時は中区。
のち南区（当時）に南区民募金、PTA費で土地確保、移転

PTAについて

- 中高あわせて一つのPTA
- 組織は中学までよりシンプル。学級保護者評議員と広報委員、役員
- 年間行事→裏面（これからの活動についてのお知らせ）参照
- 後援会、同窓会の存在
- 横の公的なつながりは区でなく市立高校同士が主体（市高P連）

PTAに関わって良かったと思うこと

- 子どもへの影響
- 学校管理職、担当教員との対話による信頼感
- 納得感
- その他